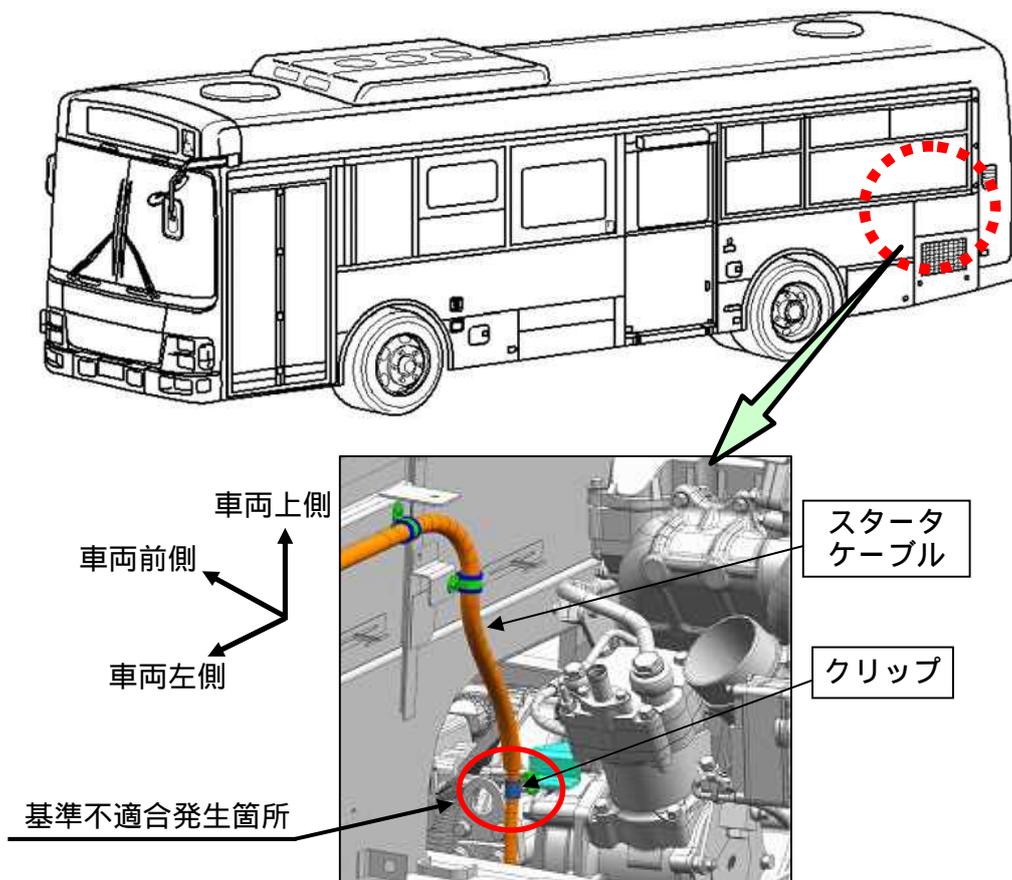


改善箇所説明図



改善前	改善後

バスにおいて、スタータケーブルの固定部の構造が不適切なため、エンジン振動により当該ケーブルの被覆が摩耗するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ケーブルの素線が露出して短絡し、最悪の場合、エンジン始動ができなくなるおそれがある。

改善の内容:

全車両、スタータケーブルにPVCチューブ及びコルゲートチューブを追加し、クリップを対策品に交換する。尚、スタータケーブルを点検し、素線に損傷のある場合は当該ケーブルを対策品に交換する。

識別：運転者席左側ドア開口部のシリアルナンバープレート付近に、銀色シールを貼付する。

注：  は措置する部品を示す。